

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 持続可能な財政運営	② 施策番号	2106
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	3 将来にわたって安定した行政サービスが提供できるよう、計画的で健全な財政運営をおこなうまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 財政運営の強化		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総務部	総務課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市役所庁舎及び公用車
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市役所庁舎は市民の暮らしを守る「安心・安全」の拠点施設として、施設の劣化状況に応じて計画的な改修を行い、適正な保守管理を行う。また、公用車は車検整備等により安全運行ができる状態とし、適正に管理することで、財政的負担を先送りしない持続可能な財政運営を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態、今後どのように変化していくと考えられるか)	市役所庁舎は市民ニーズの変化、社会情勢により適正な維持管理に努めるが、管理費は増加傾向にあり、今後予算内での質的向上が求められる。公用車については、削減を行ってきたが、今後もより効率的運用・車両運行の安全性が求められる。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 電気使用量 計算式	kwh	市役所庁舎において省エネ化を推進し、適正に管理がなされていることを判断基準とするため、電気使用量とした。
② 総務課で集約することにより削減できた額 計算式	千円	郵便物を総務課で一括集約し、郵便料金計器を使用して削減できた額とした。
③ 計算式		

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
①	電気使用量	kwh	目標値	490,000	476,000	480,000	455,000	455,000	
			実績値	476,801	484,361	455,242	—	—	
			達成率	97.3%	101.8%	94.8%			
②	総務課で集約することにより削減できた額	千円	目標値	450	400	400	400	400	
			実績値	309	406	590	—	—	
			達成率	68.7%	101.5%	147.5%			
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	庁舎管理事業	電気使用量	kwh	484,361	455,242	455,000	62,482	60,009	64,490	B	イ c	◎
2	車両管理事業	故障件数	件	33	31	39	17,706	18,002	14,868	B	イ b	○
3	郵便物発送管理事務事業	総務課で集約することにより削減できた額	千円	406	590	400	5,631	7,390	7,390	A	ア	
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						85,819	85,401	86,748			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市役所庁舎の適正管理を行うことで、市民の安全性・快適性の向上を図るとともに、維持管理コストを軽減するなど計画的な財政運営を行うことにより、行政サービスの質的向上と持続可能な財政運営に貢献する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	電気使用量に関しては、照明器具の一部LED化や適正な室温管理を行うことにより、一定、省エネ化を図ることができていると考える。また、郵便物の集約による削減額に関しては、年度により多少増減はあるものの、一定の効果があると読み取れる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市役所庁舎は市民の暮らしを守る「安心・安全」の拠点施設であり、災害時には、さまざまな情報発信又は指令を行うなど重要な役割を担っている。市役所庁舎の管理は市としての責務として実施するものである。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	持続可能な財政運営を図るため、庁舎管理事業など施策を構成する事務事業として適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市役所庁舎は市民の暮らしを守る「安心・安全」の拠点施設となっていることから、庁舎管理を最重点化事業と位置づけ、縮小化は考えていない。公用車については、長期的視点にたった計画的な財政運営を行ううえで、重点化事業として捉えており、効率的な運用に努める。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
一次評価	C	市役所庁舎の長寿命化に取り組むため、計画的な改修とともに維持管理コストの軽減に努める。また、老朽化した車両の更新とより効率的な運用及び安全な車両運行に努める。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	新たな自主財源の確保と地元企業をPRすることにより、地域経済の活性化を図るため、公用車上において民間企業の広告を募集し、新たな活用を検討する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	市役所庁舎については、照明器具をLED化することによりコスト削減に努めるなど、計画的な改修工事を実施し、施設の長寿命化に取り組む。新規購入の公用車にはドライブレコーダーの導入を行うなど、車両運行の適正管理や修繕費の削減に努める。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	市庁舎のあり方を検討し、施設の整備方針を定める。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
二次評価	C	経費削減への取組や庁舎の維持管理を通じた施策達成に向けた取組が適切に実施されている。 老朽化した市役所庁舎の拠点施設としての維持管理を適切に進めるとともに、今後の財政運営を見据えた中長期的視点での施設整備に向けた取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある